

令和8年 第1回定例会

(2月27日～3月13日)

今定例会では、町長提出議案は一般会計をはじめとした6会計の令和8年度当初予算を中心に、24件の議案が上程され、審議の結果、「町長等の給与等に関する条例の一部改正」を除いて、可決されました。

また、議員提出議案の意見書2件については、可決されました。なお、各議案の審議結果については、8ページの表のとおりです。

令和8年度 予算

予算審査特別委員会 予算をチェック！

- 令和8年度予算は予算審査特別委員会（清水秀幸委員長、日坂和久副委員長）に付記され、3月6日～9日に一般会計予算を始め、各特別会計予算、事業会計予算につき、審査を行いました。

一般会計予算

歳入歳出総額 62億7400万円 前年度比4億4500万円増（7.6%増）

主な質疑

■地域おこし協力隊

問：財源はどうするのか。

答：事業費総額は333万円で、その内訳は県のふるさと創造資金が250万円と町が83万円を負担する。活動は、農作業支援、耕作放棄地の再生、地域ブランドや特産品の開発販売・プロモーション、移住促進など。

■介護・特例介護等給付費

問：毎年度増額しているが、特に利用が増えているものは何か。

答：障がい者を対象にした給付費だが、就労支援B型962万円、放課後デイサービスが675万円、施設入所530万円などが増えている。

■特定外来種駆除報償

問：クビアカツヤカミキリの被害防止の取り組みは。

答：令和7年度から住民からの情報提供により、薬剤散布などで被害防止に努めている。報償費の特定外来種駆除報償は、クビアカツヤカミキリの駆除に協力をしていただいた方に謝礼として、20人分の図書カード（500円分）を見込んでいます。

■図書館屋根及び内外壁劣化部の改修工事

問：どういう改修工事なのか。

答：屋根は既存のものに新規の金属屋根をかぶせ、屋上防水改修は液状ウレタン樹脂を塗り重ねて防水層を作り、本館外壁はシート建材で覆う。

■鳩山町地域公共交通会議

問：町営路線バス運行経費の予算計上金額は5659万円で、前年度より増額した要因は何か。

答：増額の要因は、川越観光自動車の運送に係る人件費の高騰や車両の維持費が主な要因。

■水稻湛水直播実証事業

問：業務委託料とほ場肥培管理業務委託料の50万円の予算で、どこまでできるのか。

答：令和8年度は、須江地区で約5反の水田を対象に独自の種子処理技術を用いた実証事業を行い、その結果次第で、町内の多くの水田でこの技術が採用可能になる。

■上熊井農産物直売所調理・加工設備機器設置工事

問：設備機器設置工事715万円と利活用する団体等は。

答：加工品製造作業の効率化を図るため攪拌機つき銅釜と充填機を設置する。利用料を払えば、特定の団体だけでなく誰でも利活用できる。

■5歳児健康診査医師等報償費

問：来年度から、新たに5歳児健診が始まるが目的は何か。

答：乳幼児期から学童期への円滑な移行を図り、子どもの健やかな成長を途切れさせないため。具体的には、3歳児以降の行動課題を早期に把握し、適切な療育等へ繋げることで二次障害を未然に防ぐ。また、健診結果を保護者の同意のもと園や小学校へ共有し、個々の特性に応じた指導体制を整えることで「小1の壁」や不登校を防止する。さらに、専門職による伴走型支援を行い、就学を控えた保護者の不安解消に努める。

町長に問う！ 総括質疑 清水秀幸議員

令和8年度一般会計予算(62億7400万円)
と今後の財政運営について

問：前年度比4億4500万円増額の予算規模の要因と内容は。

答：増額の主要因は、物価高や賃金上昇など社会経済情勢の変化による影響、経年劣化や老朽化が進む公共施設の予防保全・長寿命化対策、人事院勧告等への対応など。

内容は、物価高や賃金上昇による公共施設等の維持管理等の各種業務委託費の増加、社会福祉や児童福祉分野従事者の処遇改善による介護給付費や保育児童委託費等の増加。

町立図書館改修事業に9380万円、町民体育館電気設備改修工事に2481万円、防犯灯等LED化事業に1億8千万円を予算計上。人事院勧告等に伴う職員給等で前年度比2251万円の増額。

問：町税の大幅増加が見込めぬ中、繰入金・町債の大幅増が健全財政、基礎的財政収支に及ぼす影響は。

答：基金繰入金について、減債基金は地方債元金償還費に充当するもので、公債費が高い水準で推移する状況下、効果的な活用を図った。

町債発行は、令和8年度予算では地方交付税措置のある起債として、生活安全対策事業債、農林水産業債等を有効活用し、財政健全化と将来の財政負担の軽減に努めた。基礎的財政収支については、令和8年度予算では、町債が公債費を下回る予算計上となることから黒字となる。

※公債費とは、過去の地方債の返済にかかる元利償還金と一時借入金の利子。

国民健康保険特別会計予算

歳入歳出総額 17億1040万円
前年度比1億3860万円減(7.5%減)

問：特定健康診査等事業費が、減額予算計上されているが、特定健診の受診率向上を図るためには逆行しているのではないか。

答：民間に委託していた委託事業を保健センター職員が直接行うことで経費の削減を図り、減額となった。

介護保険特別会計予算

歳入歳出総額 14億6174万円
前年度比6371万円増(4.6%増)

問：特定入所者介護サービス費1779万円について、この内容は何か。

答：低所得者の施設利用が困難にならないために、食費・居住費について支給し、負担軽減を図るもの。594万円の減額の理由については、対象者が令和7年度は前年度から8人減少の69人で、一人当たりの給付額も減少している状況。

水道事業会計

問：業務活動によるキャッシュ・フローの「当年度純利益」が、減額6125万円となり、純損失が拡大しているが、解消策はあるのか。

答：今後、県水の受水費が上がり、使用水量が下があれば、マイナスは拡大していく。解消するには、明確な日はいつとは言えないが、料金改定が必要になる。

「委員間討議」とは

特定の議題・課題について、議員同士が積極的に自由に意見を交わし合う形式の議論のことです。

鳩山町議会では、令和4年に制定された「議会基本条例」に規定されています。

委員間討議

■地域おこし協力隊

- ・住民の高齢化もあり、ボランティアも活動できなくなっている状況もあり、新たな力を得て様々な活動に展開できればよい。
- ・まだ募集段階で具体的ではないが、漠然とではなく、事業や業務を決め目的を明確に。
- ・成果が上がるかどうか、真剣に検証していく必要がある。
- ・町民の頑張る力を活かし、外部からの人材が入ることで、町の活性化のきっかけになる。隊員には、活動が終わっても定住していただきたい。

■その他

- ・LED化の情報共有、水稻の湛水直播など鳩山町における農業の今後、高齢者支援の充実についてなど、意見交換しました。